「濤沸湖エコツーリズム推進協議会」について

1. 設立経過

環境省「濤沸湖エコツーリズムプログラム整備事業 (H23~25)」における取組

- (1)「濤沸湖エコツーリズム検討会」の設置と運営(構成は地域関係団体)
- (2) 地域資源情報の収集・整理と分析・評価
 - ・各種調査による情報収集、ポテンシャルマップの作成
 - ・ルール作成の必要性を確認
- (3) 広報及び啓発活動
 - ・シンポジウムやワークショップの開催によるルール作成への意見反映、セルフガイドマップの作成
- (4) 保全と利用のためのルール作り
 - ・モデルツアーやガイド養成講習会の開催、ルール作成への意見反映
 - ・ルール普及用パンフレットの作成
 - ・地域が主体となりルールを運用するための協議会設立準備
- →環境省の3ヵ年事業が、平成25年度(H26.3月末)で終了となることを受け、「濤沸湖エコツーリズム検討会」において構成団体・委員をこれまでの経過から「濤沸湖エコツーリズム検討会」委員、事務局を網走市・小清水町とする体制で協議会を設立することで了承。

2. 構成団体

顧問:網走市長、小清水町長

委員:

(行政)網走市、小清水町

(地域) 南部地区自治会連合会北浜区会(網走市)、浜小清水連合自治会(小清水町)

(観光) 網走市観光協会、小清水町観光協会

(産業) 網走漁業協同組合、オホーツク網走農業協同組合、小清水町農業協同組合、

(自然保護) 日本野鳥の会オホーツク支部

(大学) 東京農業大学生物産業学部

(ボランティア) 濤沸湖水鳥・湿地センター友の会【仮称】(網走市)、

濤沸湖ワイズユースグループ【仮称】(小清水町)

※2団体については、6月末までに設立される予定

アドバイザー:環境省釧路自然環境事務所、国土交通省北海道開発局網走開発建設部、

北海道オホーツク総合振興局

事務局:網走市生活環境課(濤沸湖水鳥・湿地センター)、小清水町産業課

3. 今後の予定

次回の濤沸湖エコツーリズム推進協議会は、11 月からの「濤沸湖保全と利用のためのルール」運用開始に合わせて、10 月末頃の開催を予定しています。